

令和7年度 体育科 授業改善推進プラン

大田区立雪谷小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

【低学年】

- ・単元を通して学習カードを活用し、学習課題に対する振り返りを行ったので、振り返りを書くことの習慣化や、運動意欲向上へ繋げることができた。
- ・学習カードに出来るようになったことやがんばったことを記入することで、自身の成長を実感でき、学習意欲の向上を図ることができた。
- ・友達のよいところや自分のよいところを見付け、認め合うことができた。
- ・授業の中で運動遊びを取り入れることで、運動の楽しさを感じさせることができた。

【中学年】

- ・学習カードや ICT 機器を活用して、自己の学びや活動を振り返ることができた。
- ・友達のよい言動を見つけたり伝えたりする活動を取り入れて、高め合うことができるようになった。
- ・ICT 機器による動画撮影を活用して、技能を高めることができた。
- ・対話的活動を通して、運動の楽しさや喜びに触れることができた。

【高学年】

- ・活動の場、練習方法を選ぶことで、一人一人が自分の課題に合わせて技能を高めることができた。
- ・学習の中で学習カードや ICT 機器を活用しながら、個々の技能を高めることで対話的な取り組みができた。
- ・ICT 機器を活用し、チームで作戦を共有することができた。
- ・見本の動画と撮影した自身の動きを比較することで、技のポイントを確認でき、技能定着に役立った。

(2) 課題

【低学年】

- ・ICT機器を活用して手本となる動きや児童の実際の動きを見せ、課題把握や修正を行わせることが難しかった。
- ・勝敗を受け入れることがなかなかできず、ゲームで負けたチームや負けそうな時に暴言等が現れることがあり、仲良く運動することに対しては課題が残った。
- ・マット遊びでは、けがをした児童もいた。安全面に考慮していたが、さらなる考慮をしていく。

【中学年】

- ・ICT 機器を活用場面が限られていて、定着が難しかった。
- ・勝ち負けを受け入れられず、相手チームを非難する場面があった。

【高学年】

- ・体育の授業での学びや運動に対する楽しさなどを、日常の生活に結び付けて活動する児童の育成に課題が残った。
- ・運動の得意不得意の二極化が開いているように感じる。跳び箱や鉄棒などで怪我をしてしまう児童がいたので、安全指導面で考慮を加えていく。

2 授業改善のポイント（観点別）

（1）低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・一人一人の児童に運動技能を身につけさせるために、友達とポイントを教え合ったり、技を見合ったりする時間を設ける。 (授業構成) ・運動技能を発達させるために、運動量を確保し、年間を通して鬼ごっこ遊び等を取り入れたり、様々な運動ができる工夫をしたりする。 (指導計画・授業構成)	・友達のよいところや自分の頑張り、運動のコツなどを見つけられるように、対話や学習カード、ICT 機器を通して交流する。 (指導計画・授業構成) ・学習カードを適切に活用し、動きの振り返りを行う。 (授業構成)	・誰とでも楽しく運動できるように、ペアやグループの組み方を工夫する。(学習形態) ・自分ができるようになりたい動きが見つかるように振り返りの時間を設け、次時の簡単な学習課題を設定する。 (授業構成) ・学習カードや ICT 機器にめあてや振り返りを記入し、児童の励みになるようなコメント等をできる限りフィードバックする。 (授業構成)

（2）中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・技能を身に付けさせるために、運動時間を十分確保する。 (授業計画・授業構成) ・運動の正しい動きを理解させるために、ICT 機器を活用し児童が正しい動きを適宜確認できるようにする。 (授業形態・教材教具) ・児童一人一人の技能を身に付けるために、技のポイントを提示したり、動きのコツを共有したりできるようにする。 (授業構成)	・個人やチームの学習課題を見付けることができるよう、振り返りの時間を確保する。 (授業構成) ・自分の課題にあった練習や、場の工夫ができるように、グルーピングや学習カードの工夫をする。 (授業構成) ・個人やチーム、グループ活動の中の学習課題を見つけ、解決するための方法や活動を工夫させる。また、ICT 機器を活用し、互いの動きの良さを見つけ、考えたことを伝える活動を取り入れる。 (授業構成・教材教具)	・主体的に学習に取り組めるよう、安心・安全な場の設定をする。(授業構成・教材教具) ・結果までの過程や、友達と協力できたことに重点を置いて指導することで、勝敗を受け入れることができるようにする。 (授業構成) ・自己決定した学習が適切であったのかを個人や友達と振り返り、次時のめあてを設定する。 (授業構成)

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・保健の学習内容との関連を図り、安全に運動に取り組むことができるようにする。 (授業形態) ・運動器具や用具の正しい使い方、準備の仕方を理解できるように、単元の導入でオリエンテーションを行う。 (授業形態) ・ICT 機器を活用し、運動の行い方を理解できるようにする。 (教材・教具) ・児童一人一人の課題に合った場を設定する。 (教材・教具、授業形態)	・自己の動きに目が向くように、友達と教え合ったり、撮影した動画を見たりすることができるように工夫する。 (授業構成・教具) ・学習したことを振り返り、新たな課題に挑戦できるようにするために、学習カードやICT機器の提示の仕方を工夫する。 (教材・教具)	・一人一人が自己の目標を具体的に設定することで、達成感を味わうことができるようにする。 (授業構成) ・自己の目標に向けて取り組んでいる様子や、できるようになったことを称賛する。 (授業構成) ・友達と関わり合って授業に取り組むことができるようにするために、单元ごとにクラス全体の目標を設定する。 (授業構成・教材・教具)